

2009年3月中間期 連結決算 及び事業概要

株式会社マルハニチロホールディングス

代表取締役社長 五十嵐 勇二

2008年11月17日

説明概要

- 1 2009年3月中間期連結決算の概要
- 2 上期の水産事業
- 3 上期の食品事業
- 4 統合によるコスト削減効果
- 5 上期海外売上高
- 6 下期環境予想と業績通期予想
- 7 中期経営計画(ダブルウェーブ'21)に関して

1. 2009年3月中間期実績



単位:億円

マルハニチログループ 2009年3月中間期						
	実績	計画	前年			(前年) (含ニチロ)
売上高	4,537	4,600	3,636	前年比	125%	4,852
				計画比	99%	
営業利益	88	85	51	前年比	173%	66
				計画比	104%	
経常利益	71	65	47	前年比	151%	55
				計画比	109%	
当期利益	15	15	8	前年比	188%	34
				計画比	100%	

2

株式会社マルハニチロホールディングス

1-1. 09年3月中間期セグメント別実績



単位:億円

	売上高			営業利益		
	9年中間期 実績	9年中間期 計画	差異	9年中間期 実績	9年中間期 計画	差異
水産セグメント	2,922	2,980	△ 58	59	44	15
食品セグメント	1,474	1,469	5	42	52	△ 10
保管物流セグメント	75	75	0	5	7	△ 2
その他事業	66	75	△ 9	4	5	△ 2
全社				△ 22	△ 23	1
合計	4,537	4,600	△ 63	88	85	3

3

株式会社マルハニチロホールディングス

2. 上期の水産事業

健闘した事業

国内漁業・養殖事業
北米事業
水産商事

⇒ 鯉・鮪類の市況堅調
⇒ 漁獲減なるも製品市況堅調
⇒ 効率的買付販売による利益率確保

苦戦した事業

海外えび漁業
荷受事業

⇒ えび市況低迷・漁獲不振
⇒ 取扱減少に伴う減収・減益(特に鮪類)

2-1. 資源アクセスの強化策



3. 上期の食品事業

苦戦した事業

冷凍食品事業
加工食品事業

⇒中国天洋食品問題
⇒主・副原料費高騰

アジア事業

⇒主・副原料費高騰（鯨・鮪類）

健闘した商品

健康関連事業

⇒特保 リサーソーセージ
⇒カロリーゼロ ゼリーdeゼロ
⇒介護食 やさしい素材

コラボ商品

⇒2種ちくわ天ぷら、横浜あんかけラーメン

3-1. 健康関連商品



4. 統合によるコスト削減効果



コスト削減効果(09年3月中間期)

- 本社・支社等事務所経費削減
- 労務費削減

6億円

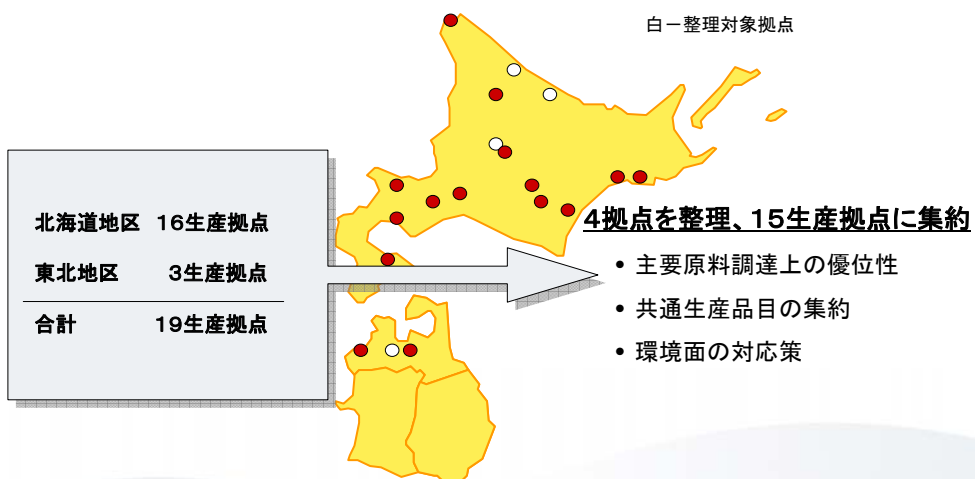
7億円

総計 13億円

8

株式会社マルハニチロホールディングス

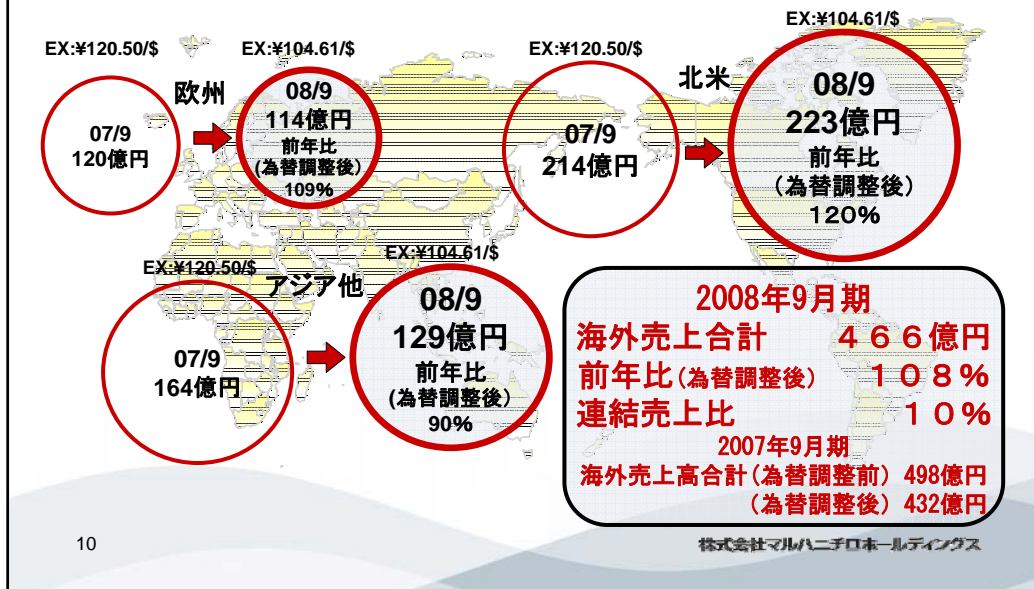
4-1. 生産拠点の統廃合



9

株式会社マルハニチロホールディングス

5. 2008年9月期海外売上高



6. 下期の事業環境予想



漁業・養殖	鯉・鮪類の魚価堅調に推移
北米事業	助宗Bシーズンの操業ロス改善
冷凍食品	市販用冷食販売数量回復
加工食品	値上げ浸透
アジア事業	価格転嫁とコスト削減効果
保管物流事業	在庫率アップ

6-1. 09年3月期セグメント別予想



単位: 億円

	売上高			営業利益		
	9年3月期 当初計画	9年3月期 予想	差異	9年3月期 当初計画	9年3月期 予想	差異
水産セグメント	6,080	6,022	△ 58	90	105	15
食品セグメント	2,915	2,920	5	114	105	△ 9
保管物流セグメント	155	155	0	16	14	△ 2
その他事業	150	141	△ 9	13	12	△ 1
全社				△ 44	△ 43	1
合計	9,300	9,238	△ 62	190	193	3

12

株式会社マルハニチロホールディングス

6-2. 09年3月期通期業績予想



	09年3月期	前年比
売上高	9,300億円	110%
営業利益	190億円	146%
経常利益	140億円	191%
当期純利益	25億円	— %

13

株式会社マルハニチロホールディングス

7. 中期経営計画



「ダブルウェーブ21」(2008～2010年度)

グループ経営の強化

- 間接部門の最適化、グループインフラの整備
- 戦略セグメントによるグループ経営強化

- ニチログループとの統合効果発現
- 経営基盤の整備

成長戦略

- 優良な食材の安定的な調達と供給
- 世界市場への挑戦（海外販売）